

2024 年 8 月 8 日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

PR活動の最高峰を選出する 「PRアワードグランプリ 2024」 8 月 20 日からエントリー受付開始

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（東京都港区、理事長：山口恭正、略称：PR S J）は、8 月 20 日（火）から「PRアワードグランプリ 2024」のエントリー受付を開始いたします。

PRアワードグランプリは、一般企業・団体の広報部門やPR会社が実施するパブリックリレーションズの事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰・公開するもので、2001 年にスタートしてから本年度で 25 回目※を迎えます。日本のコミュニケーション技術の更なる質的向上と、人材の育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目指します。

審査委員には、パブリックリレーションズのプロフェッショナルの方々に加え、学識経験者やジャーナリストの方々にも参加していただきます。多彩なエントリーに対し多角的な視点で評価を行うことにより、PR活動の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。また、8 月 20 日から 9 月 15 日までにいただいたエントリーについては、エントリー料が通常の半額未満となる「早期エントリー制」の導入により応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2024 年 8 月 20 日（火）の受付開始から、早期エントリーの締め切りを 2024 年 9 月 15 日（日）、最終エントリーの締め切りを 10 月 15 日（火）17:00 必着といたします。

詳しくは下記 URL をご確認ください。

<PRSJ サイト> <https://prsj.or.jp/pr-award/>

※ 2001 年度は 2 回開催

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

「PRアワードグランプリ 2024」実施概要

◇ 趣旨

パブリックリレーションズの活動事例を広く募集し、審査を通じて優秀な活動事例を表彰・公開し、日本のコミュニケーション技術の質的向上と育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援：経済産業省・日本広報学会・公益社団法人 日本広報協会

◇ エントリー条件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。

※現在継続している活動を含む

※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

◇ 応募について

日本におけるパブリックリレーションズ活動の幅広い事例を募集します。

統合的なコミュニケーション活動から、広報・PRに関する調査研究・著作まで日本のパブリックリレーションズを代表し、業界の発展やレピュテーションの向上に資する事例をお寄せください。

応募に際し、この活動がなぜパブリックリレーションズの事例としてふさわしいか（エントリーシート Why PR?の欄）を明記の上、次の4つの評価ポイントを明らかにしていただきます。

- 1) Strategy & Research 課題解決のための戦略性
- 2) Idea 課題解決のための独創性
- 3) Execution 活動内容の専門性または完成度
- 4) Documented Results 目標に対する直接的・間接的な成果・評価（社会またはPR業界への影響力の高さ）

特に「4）目標に対する直接的・間接的な成果・評価」を明確にするために、当該事業会社にとっての活動の目的とその達成における具体的な成果を記述していただきます。詳しくは下記の例をご参照ください。なお、いずれの成果イメージにおいてもパブリシティの広告換算を入れることは禁止いたします。

<応募いただく事例イメージと成果イメージ>

■ コーポレート・レピュテーションの向上

顧客・社員・社会等のステークホルダーからの支持と理解を得て、企業・団体・組織の活動を円滑に推進し、企業等の価値向上や組織変革に資するコミュニケーション活動例)

- ・企業ブランド価値向上のために行う活動全般
- ・企業イメージの明確化・確立のために行う活動全般
- ・企業イメージ向上のため、好意情勢のために行うソーシャルグッドの活動
- ・インターナルのモチベーションアップを実現するための活動
- ・企業のリスクマネジメント・クライシスマネジメントに関わる活動

【成果イメージ】： 企業レピュテーション・企業イメージ向上の客観的な数値・エビデンスなど

- マーケティング面における貢献
商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動
例)
・新商品、新カテゴリー創出のための情報環境創造と具体的な話題化・実績の獲得など
・商品に対する新たなブランドイメージ獲得による販売実績の向上など
・ロングセラー商品の話題維持拡大、新たなイメージ創出による市場拡大や販売実績の向上など
【成果イメージ】： 商品・サービスの売上や話題化獲得の客観的なエビデンスなど
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
企業・公共機関・団体が、社会の重要な構成員として、社会的課題解決に向けた取り組みや社会貢献の推進を積極的に行うためのコミュニケーション活動
例)
・NPO 法人など非営利組織が提起する新たな認識拡大や行動喚起などを実現する活動
・企業の事業持続化のために必要な社会的な課題解決を実現するための意識啓発、行動喚起のための活動
【成果イメージ】： ソーシャルグッドのための活動・プログラムの認知度向上、参加者の増加等の客観的なエビデンスなど
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動
パブリックリレーションズにおける調査や研究開発、執筆活動など、日本におけるパブリックリレーションズの質的な向上や普及拡大に貢献したもの
例)
・パブリックリレーションズにおける知見を公益に資する知識財として普及・拡大する活動（著作や講演活動など）
・パブリックリレーションズ領域に携わる人たちが共有できる新たな手法やプログラムの開発
【成果イメージ】： それぞれの目的とそれに対する客観的なエビデンスや成果を明記してください

◇ スケジュール

- 募集開始 : 2024 年 8 月 20 日（火）
- 早期エントリー締切 : 2024 年 9 月 15 日（日）中に受付記録があるもの
- 最終エントリー締切 : 2024 年 10 月 15 日（火）17：00 必着
- 審査 : 一次審査：2024 年 11 月 14 日（木）
グランプリ審査：2024 年 12 月 2 日（月）
- 表彰式 : 2024 年 12 月 11 日（水）16：30～20：00 予定

◇ エントリー方法

- ① PRSJ ウェブサイト「PRアワードグランプリ 2024」からエントリーシートをダウンロードし、ご記入ください。
- ② エントリーフォーム（8 月 20 日オープン）に必要事項を入力しエントリーシートを添付後、登録を完了してください。
※自動返信の確認メールが届かない場合、受付が正常に完了していない可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。

- ③ 全てのエントリー締め切り後に、エントリー料の請求書を送付いたしますので、
2024 年 11 月 30 日(土)までにお振込みをお願いします。

◇ エントリー料

早期エントリー：12,000 円（税込）／1 件（振込手数料別途）

最終エントリー：25,000 円（税込）／1 件（振込手数料別途）

◇ 審査方法

審査委員長と 9 名の審査委員の計 10 名で構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査（11 月 14 日(木)予定）

審査委員が全エントリーを在宅審査し、その結果を元に一次審査会にて上位エントリー（10 組程度）を決定いたします。

審査終了後 2～3 日以内に、審査結果をご担当者へメールにてご連絡いたします。

2. グランプリ審査（12 月 2 日(月)予定）

一次審査で決定した上位エントリー（10 組程度）によるエントリー内容の説明と審査委員からの質疑応答を実施（1 組 15 分程度）。全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。

審査終了後 2～3 日以内に、審査結果をご担当者へメールにてご連絡いたします。

3. 表彰式・プレゼンテーションについて

シルバー以上を受賞の皆様には、受賞エントリーについてプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2024 年 12 月 11 日（水）16：30～20：00（予定）

※詳細は、11 月下旬に受賞者に個別に連絡

◇ 表彰

「グランプリ」：1 点（トロフィーを授与）

「ゴールド」：2 点（トロフィーを授与）

「シルバー」：5 点（トロフィーを授与）

「ブロンズ」：7 点（表彰状を授与）

※上記は目安であり、最終的な表彰点数は審査団の協議により決定いたします

◇ 審査委員（敬称略、50 音順）

■審査委員長（敬称略）

本田 哲也 株式会社本田事務所 代表取締役／PRストラテジスト

■審査委員（9 名）（敬称略／氏名 50 音順）

伊東 由理	LINE ヤフー株式会社 執行役員 コーポレートコミュニケーション統括本部長
北見 幸一	東京都市大学 都市生活学部／大学院環境情報学研究科 准教授
小林 正史	株式会社ブラップジャパン 戦略企画部 部長／Group Planning Director
田上 智子	株式会社資生堂 グローバル広報部 チーフコーポレートコミュニケーションオフィサー
竹下 隆一郎	PIVOT 株式会社 チーフ・グローバルエディター 執行役員
河 晃珍	國學院大學 観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 准教授
橋本 良輔	株式会社電通 PR コンサルティング 統合コミュニケーション局 次長
牧 志穂	株式会社博報堂 PR 局／局長補佐、チーフ PR ディレクター
横田 和明	株式会社日本パブリックリレーションズ研究所 取締役副社長

◇ 協会活動へのご協力をお願い（必ずエントリー前にご一読をお願いします）

「PR アワードグランプリ 2024」上位入賞者は下記をはじめとする協会活動にご協力いただきますので、ご了承ください。

- ① 12 月 11 日開催予定の表彰式・プレゼンテーションにおける事例の発表（一般に向けたオンライン配信を含む）
- ② PRSJ ウェブサイト・アーカイブで受賞者の発表および活動内容の紹介（エントリーシート・動画などの公開を含む）。
- ③ 協会出版物（「PR Yearbook」「協会ニュース」など）にて受賞者の発表および活動内容の紹介。
- ④ PRSJ 主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介をしていただく場合があります。
- ⑤ 今後の PR アワードグランプリなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑥ PRSJ が参加する展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」前年度受賞一覧（会社名は当時）

※2022 年以前の受賞エントリーについては下記 URL からご覧いただけます。

<https://prsj.or.jp/pr-award/list/>

2023 年度

賞	エントリー会社名	エントリー名
グランプリ	(株) On-Co	非流通空き家を借り手の想いで動かす「さかさま不動産」 ～逆転の発想で挑戦を応援するまちづくりへ～
ゴールド	(株) はずむ	日本に眠る 5 兆円の敷金をスタートアップの成長資金に変える 「敷金を成長資金に。プロジェクト」
	甲子化学工業／猿払村／ TBWA HAKUHODO	守るのは、頭と地球。 HOTAMET
シルバー	(株) 博報堂／ (株) オズマピーアール	水族館の水槽を、サステナブルファッションを通じた 海洋保全提唱の場に『サンゴショーウィンドウ』
	(株) 博報堂	日清食品の「完全メシ」事業
	サントリー食品 インターナショナル(株)／ (株) 電通／ (株) 電通 PR コンサルティング	夏、子どもの高さは大人より 7℃も暑い！ グリーン ダ・カ・ラの熱中症対策啓発 「こども気温」プロジェクト
	(株) プラップジャパン	こどもの朝食欠食・孤食問題をこども食堂と共に解決 「ケロググ 毎日朝ごはんプロジェクト」
	(株) エフ・ディ・シー・プロダ クツ	ジュエリーそのものを見てほしい。ブランド名を伏せて 現れた謎のジュエリーショップ『匿名宝飾店』
	Edelman Japan(株)	うま味調味料「味の素®」統合 PR ～50 年もの誤解を乗り越え、食と健康の課題解決へ～
ブロンズ	(株) さくら事務所	「全員広報」が叶えた住宅診断マーケットの創出
	(株) オズマピーアール	気づいていたけど、みんなが諦めていた“子遊び疲労”解消へ。 整体つきキッズパーク「ホグシーランド」
	(株) 本田事務所	冷凍餃子フライパンチャレンジ ～1 つのクレーム投稿から始まった「永久改良」の共創活動～
	モバーシャル(株)／ (株) 東北新社	建築現場の労働災害“0”を目指した「ラジオ体操 第バ」
	(株) 博報堂ケトル	「かわいい！」だけだと思ってない？ 「飼育員さんだけが知ってる あのペットのウラのカオ」
	(株) オズマピーアール	酪農家と子どもを救うソーシャルアクション【土日ミルク】 ～給食のない休日は、おうちで牛乳を飲もう～
奨励賞	(株) メルカリ	循環型社会の実現に向けて、 地方自治体がメルカリに“まだ使える”粗大ごみ・備品を出品
	パナソニック(株)	メディア専用デジタルプラットフォーム 「PR Relate」活用による新たな広報の価値づくり

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：P R S J）は、日本P R協会（1964年結成）と日本P R業協会（1974年設立）が1980年に合併統合され、時代に即したP Rの在り方の探求とP Rの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般の企業・団体の広報部門、P R業およびP R業関連会社、それに有識者などの個人会員を含む約700名で組織されているパブリックリレーションズ（P R）のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「PR Yearbook」「協会ニュース」「P R手帳」などの出版事業、優れたP R事例を顕彰する「P Rアワードグランプリ」、傑出したP Rパーソンを表彰する「日本P R大賞P Rパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本P R大賞P Rシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・P Rスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年には、P Rプロフェッショナルとしての知識やスキル、職能意識を認定する「P Rプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・P Rパーソンや、広報・P Rに興味を持つ学生など、幅広い人々に「P Rプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月、時代の要請に応える広報・P R人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報P Rアカデミー」（現在は「パブリックリレーションズ実務講座」）を新たに開講いたしました。

また2018年10月、P Rプランナー試験に対応した公式テキストを全面改訂し、『広報・P R概説（1次試験対応テキスト）』と、『広報・P R実践（2次・3次試験対応テキスト）』を、2019年6月には『広報・P R資格試験参考問題集』を出版し、毎年改訂版を発刊しています。

2019年6月、パブリックリレーションズ活動の指針を定めた「P R活動ガイドライン」を策定いたしました。P Rの仕事に携わるすべての関係者に向けて、P R活動のあるべき姿を提示するとともに、高い倫理観の下でP R活動の社会的責任を強く自覚することを求めています。

当協会はこれらの活動を通じて、広報・P Rの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F
TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147